

イタリア語
講師紹介

ラウラ・グロッセツシ先生

ラウラ先生はイタリア北部バドヴァのご出身。大学を卒業後、小中学校の教師を経て2013年に来日しました。相撲が大好きで国技館で見た引退セレモニーに感動したそうです。1年間日本語学校に通い、杉並区交流協会の日本語教室でも勉強しています。「まだ自分の言葉と同じようには話せない」と言いますが、インタビューには日本語で答えていただきました。(広報部 T)

私はエイリアン？

成田空港から新宿に着いたら周りはアジア系の人たちばかり。それまでの海外旅行とは全く異なる体験で、自分がエイリアンになったように感じました。

区役所の対応に感動

来日早々に区役所に行った時のこと、まだ日本語ができずとても不安でしたが、案内係の方が外国人登録、健康保険…と回る順番を教えてください、1時間もかからずに全ての手続きを終えることができて感動しました。イタリアではありえません。



ラウラ・グロッセツシ先生

イタリア語は楽しく目的をもって

オペラ、料理、旅行といったようにイタリア語を学ぶ具体的な目的があるといいですね。楽しく学ぶことも大切。例えば、九段下にあるイタリア文化センターの映画や音楽などのアクティビティに参加するのも良い方法だと思います。

将来の夢

まだ分かりません。例えば、ヴェローナで、冬はたい焼きと抹茶、夏はかき氷を出す小さなお店を開くとか…。日本文化をイタリアの人たちに紹介する仕事してみたいですね。



Event Information from SACE 交流イベント情報

◆国内交流自治体からのお知らせ◆

●南相馬物産展

南相馬市の特産品販売
◇日時：10月13日(木)、11月17日(木) 10:00~15:00
◇場所：区役所中杉通り側入口前

●小千谷フェア

新潟県小千谷市の新鮮野菜や魚沼産コシヒカリなどの販売
◇日時：10月16日(日)、11月27日(日)、12月25日(日) 11:00~13:30
◇場所：小千谷学生寮駐車場 (井草4-16-23)

●小千谷ふるさと市場

新潟県小千谷市の特産品販売
◇日時：12月12日(月) 10:00~14:00
◇場所：区役所中杉通り側入口前

●吾妻の朝市

群馬県東吾妻町の新鮮な農産物の販売
◇日時：10月27日(木)、11月24日(木)、12月22日(木) 10:00~13:00
◇場所：区役所中杉通り側入口前

●名寄・秋の観光物産展

北海道名寄市の特産品販売
◇日時：10月21日(金) 11:00~19:00
10月22日(土) 10:00~16:00
◇場所：区役所青梅街道側入口前

●南伊豆観光物産展

伊勢海老の味噌汁試食サービスほか、干物や海藻など南伊豆町の特産品販売
◇日時：12月19日(月) 10:00~14:30
◇場所：区役所中杉通り側入口前・1階コミュカるショップ前
※いずれも雨天実施。物産販売は売切れ次第終了となります。マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。
問合せ：区役所文化・交流課交流推進担当 ☎03-3312-2111 (代表)

「交流ニュース」へのご意見・ご要望・メッセージなどをお寄せください。お待ちしております。

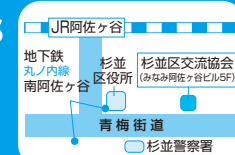


すぎなみ交流ニュース

第42号
2016年10月

Suginami Cultural Exchange News

すぎなみ 교류 소식
杉並的交流消息



◆発行：杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)]
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階
[Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail:info@suginami-kouryu.org

http://www.suginami-kouryu.org/

目次

- まるごと台湾フェア開催 2
- 外国人おもてなし語学ボランティア講座
語学(英語)ボランティアスキルアップ講座
異文化理解講座「日本人研究者が見た、スウェーデンの今」 3
- イタリア語講師紹介ほか 4

海外文化セミナー ブータン

杉並区交流協会では、毎年1つの国を取り上げ、海外文化セミナーを実施しています。25年度はポルトガル、26年度は台湾、27年度はフィンランドを取り上げました。本年度は日本・ブータン外交関係樹立30周年を記念して、「ブータン」を開催します。

イベント詳細

- <国名> ブータン王国
- <実施日> 2016年11月26日(土)13:00~17:00
- <会場> 高井戸地域区民センター・体育室 (杉並区高井戸東3-7-5)
- <定員> 150名(参加費無料)
- <内容> ブータンについての講演、写真展。観光・文化紹介ブース、物販販売。

〈プログラム予定〉

- 12:30~ 開場(受付開始)
- 13:00~ 開会
- 13:15~14:15 講演：横田裕市氏
ブータン政府観光局
『日本・ブータン外交関係樹立30周年記念事業』
～プロガーアールレポート～
- 14:30~ 講演：関健作氏
「幸せの国」～ブータンに暮らす人々の生き方～
- 16:00~ 関健作氏の書籍の販売など
- 17:00 終了

関健作(写真家)

杉並区在住。2006年、順天堂大学・スポーツ健康科学部を卒業。2007年からJICA青年海外協力隊の体育教師としてブータンの小中学校で3年間教鞭をとる。2010年、帰国。小中学校の教員をしながら写真展を開催。現在、写真家の道を選び、ブータン、チベット文化圏に住む人々をテーマに撮影している。日本で唯一のゾンカ語(ブータンの公用語)翻訳、コーディネーターでもある。



同時開催 関健作氏写真展
「ブータンに生きる人々」入場無料

※青年海外協力協会(JOCA)のブータングッズの展示、観光・文化紹介、物販販売青年海外協力隊OB/OGの方々との交流展示ブースも企画しています。

共催：杉並区
認定事業：外務省「日本・ブータン外交関係樹立30周年」
後援：独立行政法人国際協力機構(JICA)・日本ブータン友好協会
協力：公益社団法人青年海外協力協会(JOCA)、ブータン政府観光局、GNHトラベル&サービス、Bhutan Fortune、地球の歩き方、旅の本屋のまど

★すぎなみフェスタ2016 11月5日(土)・6日(日)

杉並区交流協会の「インターナショナルカフェ」でお会いしましょう。交流協会ではホットワインの販売や外国人対応コーナーを設けます。

【日時】11月5日(土) 午前10時～午後3時30分、
6日(日) 午前10時～午後3時

【場所】メイン会場=桃井原っぱ公園(桃井3-8-1)
連携イベント会場=杉並会館(上荻3-29-5)、
西荻地域区民センター・勤労福祉会館(桃井4-3-2)

僕たちも遊びに行こうよ

問合せ
すぎなみフェスタ実行委員会事務局
(文化・交流課すぎなみフェスタ担当)
すぎなみフェスタホームページ
http://www.sugi-chiiki.com/sugifes/
電話：03-3312-2111 内線3772

すぎなみフェスタイベント内容

- ★特設ステージでは、キャラクターショー(魔法つかいプリキュア・仮面ライダーエグゼイド)、吹奏楽演奏、東京高円寺阿波おどりなど
- ★交流自治体物産展
- ★行列のできるおいしい飲食やグッズなどの物販販売、東北・九州地方の各アンテナショップの出店、杉並区農業祭、杉並パルティ・スイーツフェアなど
- ★ひろば内では、昔遊び、スポーツ体験、起震車体験、白バイ展示、清掃車「ごみばっくん」の展示、エアートランボリンのほか、高円寺びっくり大道芸のパフォーマンスなどもおこなわれます。



交流協会の会員になりませんか?

杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

年会費

- ・個人会員 1,000円/年 (9月以降入会の場合は初年度に限り500円)
- ・法人会員 20,000円/年

会員期間

入会の月から3月31日まで(当年度末)

会員特典

- ① イベントの情報や交流に関する情報紙「交流ニュース(年4回発行)・NEWS LETTER(年8回発行)など」をお届けします。
- ② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。
- ③ イベント参加費に会員割引があります。

申込方法

入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。



HP・Facebook 随時更新!!

杉並区交流協会

検索

ま る ご と 台 湾 フ ェ ア 開 催

9月10日(土) セシオン杉並

9月10日(土)セシオン杉並にて「まるごと台湾フェア」が開催されました。杉並区と交流を深めている台湾をまるごと楽しもうと始まったこのイベントも今年で4回目。天候にも恵まれ、会場となったセシオン杉並は多くの来場者で賑わいました。



田中杉並区長と台北駐日経済文化代表処の謝代表も一緒にテープカット

中庭には台湾グルメの屋台やお土産屋さんがずらりと並び、名物料理やパイナップルケーキを求めのお客さんの長い列ができました。

展示室には台湾を紹介するコーナーや台湾雑貨のお店が集合。現在テレビで放映中の日台共同制作人形劇のコーナーには熱烈なファンが大勢訪れ、主人公の人形達を何枚も撮影していました。新宿区から来たという女性は「この人形劇は台湾の伝統人形劇布袋戲をアレンジしたもの。今日はこのために来ました」と新感覚の人形劇の魅力を熱く語ってくれました。



台湾には16の少数民族が住んでいるそうです。タイヤル族の女性に帽子と髪飾りをつけてもらい記念撮影。

料理室では台湾素食(ベジタリアン料理)教室が開催されました。台湾では素食が広く普及しているそうです。講師は台湾素食料理チャンピオンの劉毓真さん。



劉毓真さん

今年のテーマは「人」。会場では台湾と日本の発展に寄与した人々を語った講談、映画・ドラマでの日台交流についての講演、台湾の故郷再生を目指した人々の映画が上映されました。



講師一龍齋貞花さんによる講談「台湾を愛した日本人・八田與一」「日本超高層建築の父・郭茂林」



台湾映画研究家福見公仁子さんによる講演「映画でコラボレーション! 日台交流onスクリーン」

「太陽の子」特別上映会

舞台は原住民(先住民)アミ族の村。ホテル開発のために先祖伝来の地を売り渡してよいのか。村人たちが出した結論は民族としての誇りを守ること。伝統の稲作を復活させる取り組みを通じてコミュニティーと家族の再生に踏み出します。

先住民をテーマにした映画製作ができるころに台湾社会の奥深さを感じます。蔡英文総統は、初めて先住民に謝罪しました。背後には「移行期の正義」を支持する多くの市民がいます。

上映会に続いて、アミ族の民族衣装で登壇した主人公ハナイ役のアロさんとジャーナリスト野嶋剛さんとの対談があり、アロさんの伸びやかな歌声に魅了され、最後はアミ族の歌を合唱しました。日本での上映は、野嶋さんが監督から上映権を授権することで実現したものです。一本の映画が一人の心を突き動かし、その人を支える人の輪が生まれ、作り出した共感のうねり。その取り組みからも多くを学べた貴重な一日でした。(広報部T)



今回のフェアには区外からも大勢の人が訪れていました。これからも台湾との交流を深めると共に、台湾の魅力や最新情報を杉並区から発信していきます。(広報部I)

外国人おもてなし 語学ボランティア講座

2016.6.29
セッション杉並

▶外国人とのコミュニケーションに関する基礎知識、そして外国人に対する「おもてなし」の心を身につける講座に60名が参加し、映像やグループ学習から様々な事を学びました。講座修了時にはそれぞれが「外国人おもてなしボランティア」に登録し、東京都から「登録証とバッジ」が配られました。

●講師は和やかさと緊張感ある講座を進行

●グループ学習

●おもてなしの良い印象、悪い印象について

▶杉並区では初めてとなるこの講座は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けての取り組みというだけではなく、グローバル化し、また訪日外国人観光客が3000万人を数える、現在の都や杉並区の置かれている状況に対応して実施されました。(東京都は27年度より実施)

▶今回の講座は、「英会話学校」の講師の進行で展開され、VTRで、外国人と意識的に好ましいコミュニケーションをとっている実例を見ることから開始しました。その後グループでのジェスチャーゲーム、問題解決への方法を言語だけでなく様々な試みで試みること、そして、このようなボランティアに大切なスピリッツを受講者それぞれが考え発表していく内容でした。何より目的地向かうルートを教えるなどといった実践的課題に対し、自ら判断していく学び方には、それぞれの知識や経験も反映され、受講した内容が個性的に身につくような印象を受けた充実した講座でした。(広報部Y)



●登録証とバッジ

語学(英語)ボランティアスキルアップ講座 上級

阿佐谷地域区民センター

7月1日(金)国際基督教大学講師Christopher Gallagher氏による語学ボランティアスキルアップ講座が行われました。杉並区交流協会の語学ボランティアに登録されている方のスキルアップと活躍の場を広げるための講座です。「Culture and Communication in Internationalism」をテーマに、全て英語での講義とワークショップが行われました。45名の受講生は講師の話に興味深く耳を傾けていました。その後、英語での質問が飛び交っていました。

受講者からは、

- ◆英語による講義は久しぶりだったので、ブラッシュアップするにはとても良かった。
- ◆英語で受けたということが良い機会でした。また文化といってもその奥にそれぞれの違った考え等の人たちがいて成り立っているということ、クリス先生のリアルな例を通して自分のことと照らし合わせて考えられて嬉しかったです。
- ◆非常に話が具体的でわかりやすかった。日常では経験できないことを経験する一日でした。

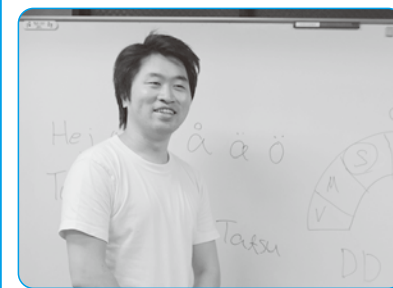


異文化理解講座

8月24日(水) 於 杉並交流協会

「日本人研究者が見た、スウェーデンの今」

両角達平さんによる異文化理解講座「日本人研究者が見た、スウェーデンの今」が杉並交流協会多目的スペースで開催されました。両角さんは「すべての若者が社会の担い手



◆両角達平さん
静岡県立大学卒業後ストックホルムに留学 現在はストックホルム大学教育学部修士課程在籍 東京大学教育学部特別研究生に留学中

になること」を妄想し(本人談)、北欧の若者政策を研究しています。当日は約20名の受講者を前に、スウェーデンの日常生活から、移民問題、いじめ、若者政策等と様々なお話をされ、ノーベル賞、イクア、H&Mだけではないスウェーデンの今のお話をうかがうことができました。今回の講座は、前半

はスライドを中心にスウェーデンの紹介、後半は参加者と両角さんの対話形式で進行していきました。日本との共通点は室内で靴を脱ぐ、時間に厳しい、寿司屋が人気、所得格差が小さい、無宗教等、相違点は休みが多い、お酒は自由に買えない、学費も乳母車も無料。貯金はしない等の話から、難民の方にもスウェーデン人と同等の社会保障が受けられる、20代の選挙投票率は約80% (日本は38%)、大学生の平均年齢は28歳、日本とは違い意思決定教育が重視される等、スウェーデンの社会政策、若者を取り巻く現状などのお話がありました。

高い人権意識と参画意識、家族社会とは違う個人社会等、いろいろと考えさせられる時間になりました。参加者からは現地で暮らしているのが日常生活のエピソードがきっかけで、民主主義を育てる、若者の意見を反映させる施策がきっかけであったといった感想が寄せられました。(広報部K)